

研究もエコに 立命大が新棟竣工式

京都新聞 5月14日(水)23時59分配信



新棟「トリシア」屋上に設置された垂直翼型の風力発電機（草津市・立命館大）

立命館大理工学部の新棟「トリシア」の竣工（しゅんこう）式が14日、滋賀県草津市の同大学びわこ・くさつキャンパスで行われた。省エネルギーや環境負荷軽減を目指し、企業との共同研究で開発した建築材料や設備を導入、風力発電や地熱利用などの実験を建物全体で行う。大学キャンパスでは国内最大級の天体望遠鏡も設置している。

鉄筋コンクリート造り6階建て、延べ床面積約7千平方メートル。環境都市系の3学科が入り、4月から使用している。

実践的な研究の場とするため、地元を含む企業20社と「グリーンビルディング・コンソーシアム」を組織して設計。

どの風向きでも回転しやすい垂直翼型の風力発電機を屋上に設置したほか、水が全面に拡散する特殊な信楽焼のタイルを使って壁面緑化に取り組む。地熱や太陽熱を活用した冷暖房システム、雨水の再利用など最新技術も取り入れた。建物を活用しながら効果の検証実験を進める。

天井の配管などはむき出しにし、建築を実地で学べるようにした。口径60センチの反射式天体望遠鏡も設置、研究だけでなく一般向けの観測会も企画する。

また、研究室や学年を超えた交流ができるよう、テラスやカフェなど交流スペースを多数配置している。

第3種動便物認可

2014.5.16 朝日新聞

環境学ふ新棟完成 草津の立命館大理工学部

風力発電機や天体望遠鏡を備えた立命館大理工学部の新しい環境教育棟が、草津市の同大学びわこ・くさつキャンパスに完成した。学びの場としての役割に加え、企業と協力して省エネルギーなどの新技術の開発や実験拠点としても活用する。

「トリシア」と名付けられた建物は、いずれも鉄筋コンクリート造りの6階建てと3階建ての計2棟。渡り廊下でつながっており、床面積は延べ約6900平方メートル。理工学部の都市システム工学科、環境システム工学科、建築都市デザイン工学科の学



新たに完成した環境教育棟「トリシア」＝いずれも草津市の立命館大学びわこ・くさつキャンパス

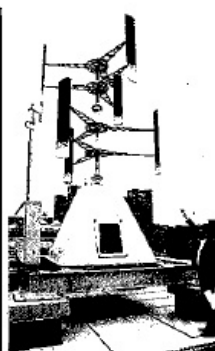


天体望遠鏡は一般にも公開される

口径60センチ 天体望遠鏡

生らが学ぶ。建物には、約20社の企業の協力を得て、わずかな風でも回転する風力発電機や、太陽熱と地中熱を利用した空調設備、壁面緑化などを導入。実験段階の技術も含まれ、学生や教員が最先端の技術を検証しながら研究を進められるという。また、屋上には口径60センチの天体望遠鏡を設置した。普段は研究に活用し、観測会などで一般にも公開していく。

微風で回転 風力発電



「トリシア」の屋上に設置された風力発電機

建物そのものが実験棟！BKCに理工系新棟「トリシア」が完成

立命館大学は、5月14日(水)、びわこ・くさつキャンパス(BKC)に完成しました理工学部環境都市系3学科(都市システム工学科、環境システム工学科、建築都市デザイン学科)の学生が主に利用する理工系新棟「トリシア」の竣工式および内覧会を開催しました。

「トリシア」は理工系の実践的な教育を実現し、建物自体を教材にするという新たな発想で建てられた環境教育棟です。「トリシア」には3つの特徴があります。1つ目は、建設にあたり理工学部の学生の意見をヒアリングすることで見えてきた「研究室や学年を超えた交流が可能となるスペースがほしい」という要望に対して、学生交流を生み出すための多様な「居場所」を設置したことです。大階段「イバシヨテラス」、交流スペースである「ラボカフェ」、学生と教員の交流を促す「ティーチングコモンズ」などが学生たちの動線に沿って設けられています。2つ目は、本学教員と企業が共同で開発した風力発電システム用風車、高性能建築外皮タイルなど最新の省エネルギー・環境負荷軽減等の技術や設備、建築材料など、建築・環境関連の新技术を導入し、教員・学生が「被験者」となり、その効果検証や改善のための研究を進めることができます。3つ目は、学内外の連携強化です。環境都市系の3学科が共通の建物の中に入り、これまで以上に教員・職員・学生の交流が促進されます。また、企業から最先端の発想や技術を用いた設備をご協力いただいております。設備を利用した産学連携の推進も期待されます。

さらに屋上には、大学キャンパス内に設置される望遠鏡としては国内最大級の口径60cmの天体望遠鏡を設置しました。天体望遠鏡は理工学部を中心とした研究に活用するとともに、地域の子どもたちや一般の方を対象とした観望会を実施し、地域交流も推進していきます。

■立命館大学BKC理工学部新棟「トリシア(Tricea)」の名前の由来について

「Tricea」の「Tri」はTrinityから引用し、「教員・職員・学生」の一体や「産・官・学」の連携を表します。また、「cea」には「Communication(人々の交流や共感とそこから生まれる憩い)」、「Experiment(実験や新しい事への挑戦)」、「Acquisition(知識・学問の習得)」の意味が込められています。

■理工系新棟「トリシア」建物概要

構造:鉄筋コンクリート造

階数:トリシアⅠ 地上6階建

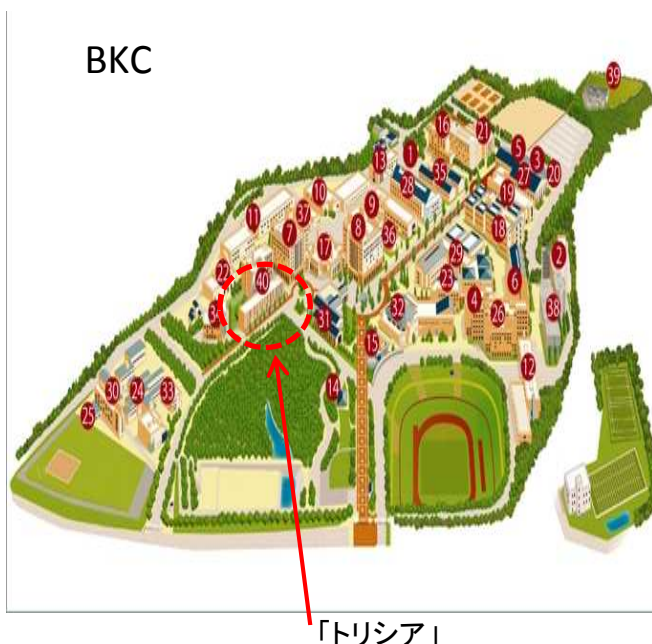
トリシアⅡ 地上3階建

工事期間:2013年3月25日～2014年5月6日

述べ床面積:6,958.41㎡



理工系新棟「トリシア」の外観



「トリシア」



研究・教育や地域交流などに用いる天体望遠鏡